

『PRAY FOR JAPAN - 3.11 世界中が祈りはじめた日』 (prayforjapan.jp編/講談社) 印税寄付に関するご報告と、電子書籍 (iPhone/Android) 発売のお知らせ

東日本大震災の当夜に立ち上がったWebサイト「prayforjapan.jp」は、現在までに国内外から600万人を超えるアクセスがあり、大きな反響を呼びました。4月に書籍化された『PRAY FOR JAPAN - 3.11 世界中が祈りはじめた日』では、印税の全額を復興支援のために寄付致します。2011年7月15日現在までの印税から、子どもたちの心のケア、学びや自立の機会を継続的に支援するために設立された「ハタチ基金」に3,000,000円を寄付することを決定致しました。

寄付額 3,000,000円 (『PRAY FOR JAPAN - 3.11 世界中が祈りはじめた日』書籍印税)

寄付先 ハタチ基金 (主催団体: 日本財団/特定非営利活動法人NPOカタリバ/CAMPANセンター)

※ ハタチ基金への寄付金の使途に関しては、随時ウェブサイトを通して報告致します。

※ 今後の重版によって発生する印税に関しても、継続的に全額を寄付致します。

(今後の寄付として「被災地発のプロジェクト支援」に特化した寄付の形を検討中です)

また、2011年8月下旬に電子書籍版『PRAY FOR JAPAN - 3.11 世界中が祈りはじめた日』(iOS/Android対応、定価350円/税込)を発売致します。多言語(2011年9月末までに英語、中国語、韓国語、フランス語、イタリア語、ドイツ語など計13言語予定)に対応しており、すべての言語がダウンロード出来るほか、電子書籍だけのコンテンツや、アプリ内でドキュメントや新着コンテンツなどの継続的な配信をを予定しています。こちらの印税も全額、prayforjapan.jpを通して被災地の復興のための寄付に充てられます。



本件に関する問い合わせ先

講談社 新企画出版部『PRAY FOR JAPAN - 3.11世界中が祈りはじめた日-』編集部

prayforjapan@kodansha.co.jp

○ prayforjapan.jp について

3.11 東日本大震災発生直後からインターネットに寄せられた海外からの祈りや応援のメッセージ、国内で投稿されたエピソードを集めたWebサイト。震災当夜、停電中の一時避難所にいた20歳の大学生によって立ち上げられました。4月に講談社から『PRAY FOR JAPAN - 3.11 世界中から祈りはじめた日』として出版。本は、出版社及び監修者個人から被災4県のすべての高等学校および一部の避難所へ合計1100冊の寄贈を行ない、東北を中心に教育機関をはじめとした各所から感動の声が届いています。

公式Webサイト <http://prayforjapan.jp>

- ・ 設立人代表/監修者 鶴田浩之 慶應義塾大学環境情報学部2年 株式会社Labit代表取締役

○ ハタチ基金について

被災孤児、及び被災地の子どもの心のケアに合わせ、学び・自立の機会を継続的に提供する基金として設立されました。東日本大震災発生時に0歳だった赤ちゃんが、無事にハタチを迎えるその日まで。子供たちのサポートを継続的におこなう期限付きの基金です。

公式Webサイト <http://www.hatachikikin.com>

- ・ 代表幹事 町井則雄 公益財団法人日本財団
- ・ 代表幹事 今村久美 特定非営利活動法人NPOカタリバ代表理事
- ・ 代表幹事 能島裕介 特定非営利活動法人ブレーションヒューマニティー理事長

本件に関する問い合わせ先

講談社 新企画出版部『PRAY FOR JAPAN - 3.11世界中が祈りはじめた日-』編集部

prayforjapan@kodansha.co.jp